

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	Lev RG レスポンス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.509	△RG	0.046	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

番

MB 3-1/2in

研磨剤

比較対照ボール：モハビ

フレアーの幅 インチ

表面加工

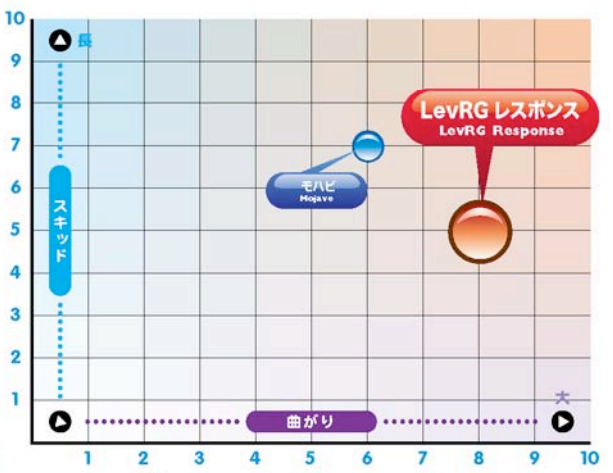
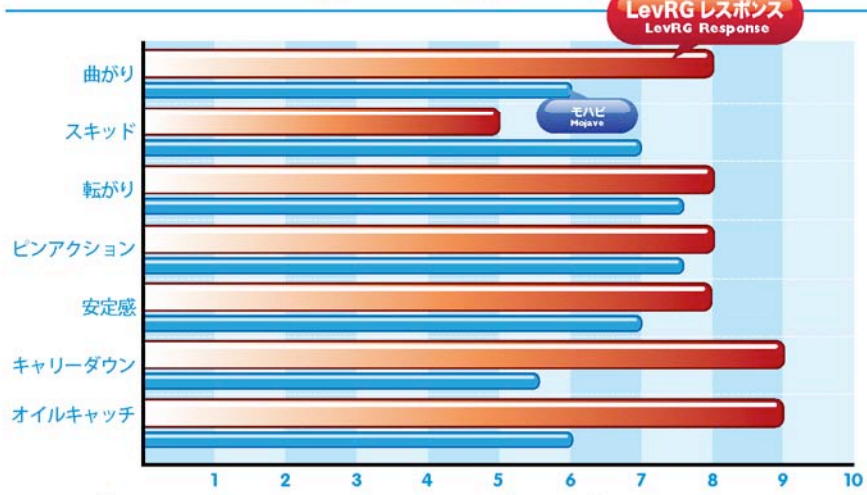
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

番

MB 3-1/2in

研磨剤



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

特記事項

今回モーリッチ社が目指したのはネーミングに掲げられているRESPONSE=「反応」であります。このLevRG RESPONSEはパワーロスせず、バックエンドまでエネルギーを蓄えられるカバーストックとして"Extended Ra Pearl Reactive"カバーストックを新たに採用し、レーンとの接触面とのコアのバランスを図るためコア数値を修正。EZ Levコアのパワーを後半のフックからロールにかけて集約し、バックエンドで強力な回転を生み出せるように作られました。

私が投げて特徴的だと思ったのは、ミッドエリアでの動き出しは早めに感じながらも、そこから曲がり終わるイメージはなく、ピンヒットまでグイグイと曲がるトルクを感じる事ができました。曲がり始めは早く感じながらもバックエンド付近で一番強いパワーを感じる事ができるという事は、明らかに「その部分」でパワーを発揮できるボールに意図的に仕上げています。ネーミング通りRESPONSE=「反応」を意識して作られたのが分かります。

そういう設定にしてもピンヒットまでしっかりと軸移動を完了させられるのが私は気に入っており、軸移動完了時のピンヒットではタップ率も格段に少なく感じています。

表面加工は箱出しで#4000アブラロン加工であります。フックの移行ポイントが遅いと思われる方にはさらに#2000・#1000と番手を下げてチューンナップしてください。

モーリッチ最新作はバックエンドモーションを意識し作られたボール。曲がり始めからピンヒットまでのトータルバランスの完成度はかなり高いと思います。

ロールからフックにかけての動きのイメージを一番に考えて、カバーストックからコアの数値まで設定されたボールです。その動きを是非お試しください。